

別紙：港南区の神社一覧(『港南の歴史』、『こうなんの歴史と文化』、『こうなん歴史散策テキスト』より)

神社	主祭神・合祀社と祭神	祭神から見た神社機能	特記事項
青木神社 ・創建不詳(安房洲神社の分祀説有) ・大久保、最戸の鎮守(往古は多々久郷総社) ・明治41年7社合祀(合祀2社名不明)	主：木々能智命	草木を掌る神＝森林・国土安泰	青木神社は大岡川左岸の山と木々の守護を願って高台に創られた。 多々久郷は弘明寺、井土ヶ谷を含む広域。
	伊勢社 天照大御神	天皇家の祖神、国家(土)安泰	
	火産神社 伊弉諾命	愛宕・秋葉神社系(火神)＝防火	
	稻荷社 稻倉魂命	伏見稻荷系＝五穀豊穡	
	子之神社 大国主命	出雲信仰＝農守護、健康維持	
	十二所社 天七地五祖神	熊野三山信仰＝浄土信仰	
	受持命	保食神＝五穀豊穡	
鹿島神社 ・創建不詳(1191年の棟札あり創建年次か?) ・上大岡の鎮守 ・明治41年3社合祀(右記5社は境内社)	主：建御雷命	藤原一族の守護神＝武運、災害除け	久良岐郡の中心地に国司一族の守護神を祀ったのでは。 近くに主要道の分岐があったと思われる(配神は村の入口や分岐に祀られる神)
	配神：岐之宮(神)、来名戸神	道祖神信仰、道饗神事＝悪霊拒絶	
	稻荷社 稻倉魂命	既出	
	弁天社 市杵島姫命	宗像三姉妹神＝海路・航海守護	
	地神社 植山姫命	大地の神＝農守護、五穀豊穡	
	御嶽社 蔵王権現	大国主、少彦名、日本武尊、金山彦などの神	
白旗明神社 頼朝、義経	源氏一族武運、守護		
春日神社 ・創建1099年(仁和寺僧尋清に国司藤原成実が神像を与え創建) ・日野郷4村(吉原、宮下、金井、宮ヶ谷)の総鎮守 ・明治41年22社を合祀(22社の全体は不詳)	主：天見屋命	藤原一族の祖神＝天孫降臨5随神の一人	武蔵国の辺境の地に国司自らが祖神を祀る意味を検討する要あろう 日野郷は当地区最大の面積だが合祀社数22は集落(戸数、字)に比しても多い
	配神：受持命、山宮神	五穀豊穡、山林守護	
	天照大御神	天皇家(国家)の祖神＝国家(土)安泰	
	伊弉諾命	国産み、神産み＝	
	大己貴命	大国主命の出雲名＝国造り守護	
	国常立神	日本書紀の最初に出る神＝国土根元の神	
建御名方命	諏訪大社祭神＝竜神(水害守護)武運		
金山彦命	鉦山の神＝鍛冶守護		
素戔嗚命			
天照大神宮 ・創建不詳 ・笹下郷の総鎮守 ・明治41年7社合祀 ・若宮八幡と御霊神社は分祀し、元の場所に戻された	主：大日靈貴命(天照大御神)		
	安房洲神社 天太玉命	忌部氏の祖神＝天孫降臨5随神の一	宮下村字宮田にあった
	八坂神社 素戔嗚命	厄除け	
	若宮八幡社 八幡大神	応神天皇、宗像3神、神功皇后＝源氏守護	雑色村字笹下にあった
	御霊神社 少彦名命	少彦名は大国主と共に国造りした	
	榛名神社 火産、植山姫命	既出	
	稻荷神社 稻倉魂命	既出	松本村字青木にあった
	杉山神社 五十猛命	木、森守護神	
山王社 大山咋命	山の神	松本村にあった	
永谷天満宮 ・1493年永谷郷領主宅間上杉氏の創建	菅原道真	天満宮は元々御霊信仰(非業の死による怨霊鎮護)だが、道真の加護を願うものであろう。最近では学問の神	周辺地域からの合祀社はない
神明神社(下永谷) ・創建は不詳だが、村の鎮守となったのは元禄元年(1558) ・永谷中村の鎮守 ・明治41年6社を合祀	主：天照皇大神(天照大御神)	既出	
	八幡神社 八幡大神	源氏守護、武運	下永谷の殿屋敷城塞跡にあった
	巖島神社 市杵島姫命	海路・航海安全	
	白山神社 菊理姫命	製鉄・鉄加工者の信仰	芹が谷にあった
	天神社 菅原道真	既出	
	白旗神社 頼朝、義経	既出	下永谷の八木・水田の権田ヶ谷戸にあった
	日月神社 三貴神	三貴神＝天照、月読命、素戔嗚命	
	武甕槌命	建御雷命のこと＝既出	
神明神社(下野庭) ・明治42年白旗社と合併	主：天照大御神	既出	白旗社は天谷にあったが神明社の情報は全くない
	白旗神社 頼朝、義経	既出	
野庭神社 ・1570年名主臼居家当主が蔵王権現を勧進	日本武尊		日本武尊の経緯は？ 臼居家の氏神を村の鎮守にした
	蔵王権現	本地仏は釈迦、観音、弥勒で過去、現世、来世の救済	